

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



かふう

毎週金曜日発行

2009.2.20
Vol.177

新報リビングニュース



目次

* こんな家に住みたい

コンパクトでシンプルな家

- 5 ギャラリーに行こう
くらしのこものや 小さな和み
- 6 どうする住宅資金
借入試算 いくら借りられる?
いくら返せる? その1
- 8 シリーズ・ドキュメント家づくり ケースその四十一の四
決断力と勘を頼りにマイホームづくり

- 9 うちなあ点描155
スージ風 高嶺晃
- 10 ベット
PET with YOU/犬との楽しい暮らし
- 11 宮良塾
コンテナ菜園にチャレンジ!
- 12 建築資材ライブラリーvol.19
セメント・コンクリート

- 14 '09 ザ・情報収集
街の不動産屋さんに聞きました。
- 16 高い付加価値を備えた賃貸物件
魅力あるアパートライフのために
- 18 イザ! 引っ越しその前に
しっかり押さえよう荷造りのポイント
- 27 かふう週報

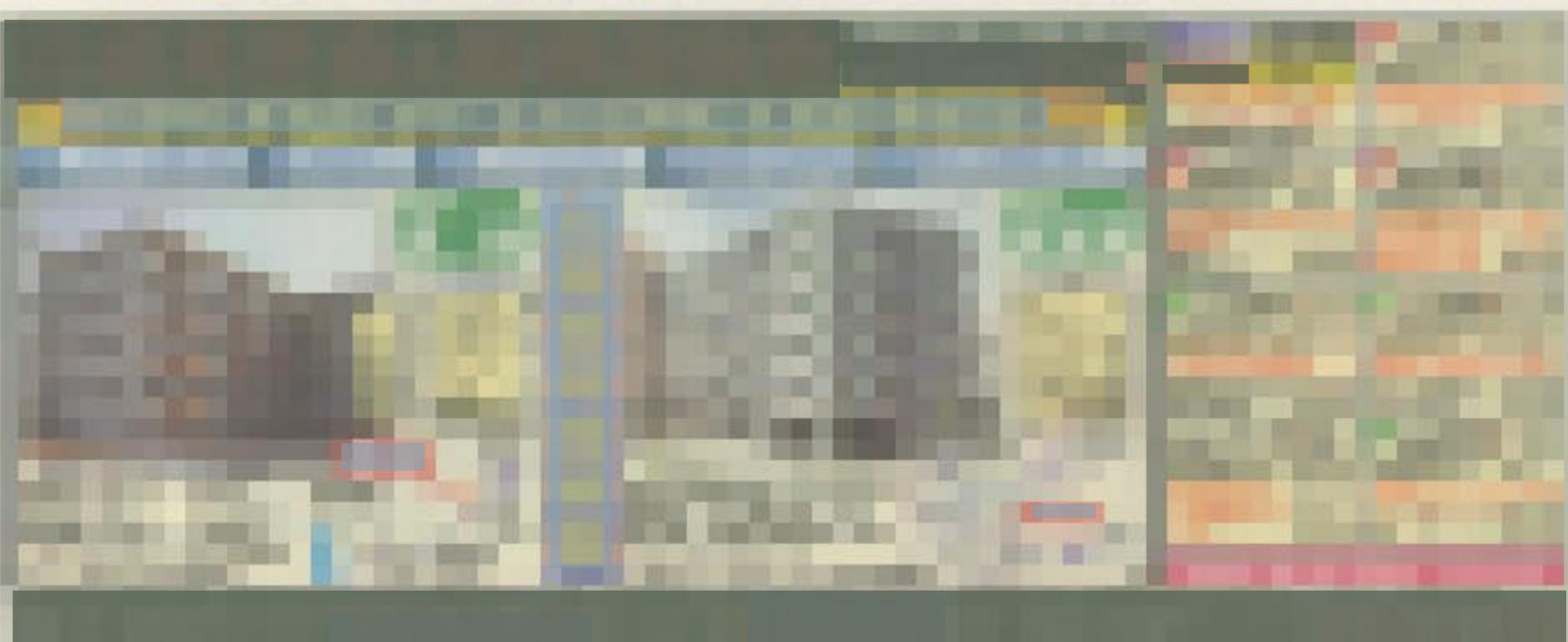
第166回
読谷村
Yさん宅

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス5%

琉球新報
発行/琉球新報社
〒900-8525 沖縄県那覇市天久905
☎098-865-5014
企画・編集・制作/(株)正広コーポレーション
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9
☎098-941-8112
購読のお申し込み 0120-39-5069

撮影・星比久光史

「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「果報。幸運(にめぐり合うこと)」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。



こんな家に住みたい

第166回
読谷村
Yさん宅

コンパクトでシンプルな家

アパート暮らしの長かった、共働きのYさん夫妻が望んだのは、コンパクトでシンプルな掃除のしやすい家。完成から一年、理想の住まいでのべつてのいる生活を楽しめています。

犬と暮らす

Yさん夫妻は、二～三年前近くに家を建てようと、土地を探し始めました。不動産会社の広告や空き地の立て看板に目を配り、じっくり探した結果、これならと思う土地に巡り合うことができました。家づくりの依頼先は、取りあえず周辺の建築会社や設計事務所を一つひとつ当たってみることにしました。幸い、二件目に訪ねた建築会社に好印象を持ち、そこから建築士を紹介してもらったところ、ほとんど拍子に話が進むことになりました。建築士との打ち合わせには、

Yさん夫妻の要望を箇条書きにしたものを持参。

「基本的にコンパクトでシンプルな、掃除のしやすい家を希望しました。それから犬を飼うのが夢だったので、犬が走り回れるスペースをつくってほしいとお願いしました」と奥さま。またYさんは「以前から妻が腰痛に悩んでいて、自分も時々腰が痛いことがあります。なので先のことを考え、バリアフリーで住みやすい家にしたいと伝えました。欲しき部屋数など、おおまかな話はしましたが、間取りはお任せしました」と振り返ります。



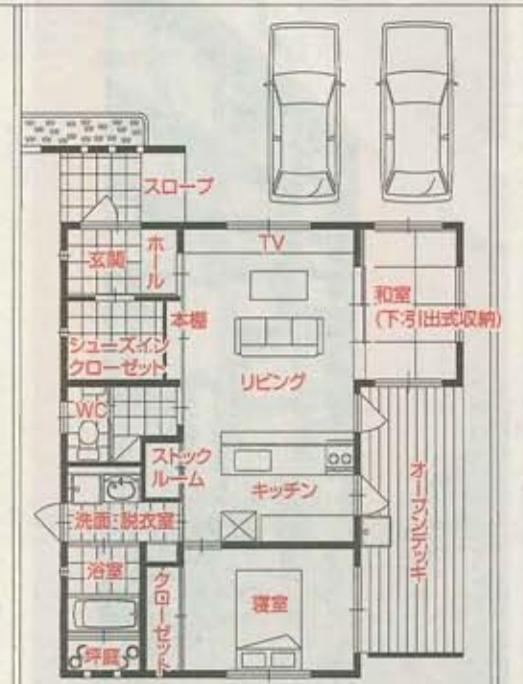
和室。デッキ側に大きな開口部があります

バリアフリーで腰痛対策

読谷村の住宅地に建つコンクリート造の小さな家がYさんの住まいです。四角い箱をちょこんと置いたようなシンプルなアイボリーの外観に、ラウンジの外壁がさりげないアクセントになっています。道路境界線からセットバックし、駐車場を確保。間取りは中央の縦一列にリビング・キッチンと寝室の二室を配し、左側



全面道路 幅員6m



平面図



1. リビング・寝室につなぎ合わせたオープンデッキにベット用の洗い場を設けています
2. 洗面・脱衣室に出入り口を設置
3. 坪庭のある明るい浴室
4. トイレは木枠を取り付けて扉を設置。車いすが必要になった場合には、簡単に取り外してスペースを広げることができます
5. キッチンは洗面・脱衣室と平行して設置。風の通りもよく、家事動線もスムーズです
6. 玄関アプローチに緩やかなスロープを造り、車いすでも通行可能に。目隠しの壁には丸い穴を設け風が通るようにしています
7. 外観。道路境界線からセットバックし、駐車場を確保

Yさん宅データ

家族構成：夫婦
所在地：読谷村
設計：Cafe+1級建築士事務所 Simple 赤嶺しげたか + みつちよ
敷地面積：149.73m²(45.29坪)
建築面積：76.04m²(23.00坪)
延床面積：65.94m²(19.95坪)
構造：RC壁式造
用途地域：第1種中高層地域
完成時期：2008年3月

施工 ●施工／(株)丸山建設 ●電気／正光電気
美者 ●水道／(株)全秀工業

に和室とオープンデッキ、右側に玄関、納戸、水回りを配した、シンプルでコンパクトなもの。広いテッキには、愛犬スダチの姿が見られます。

奥さまは「家づくりの動機の半分は犬と暮らすことでした。引っ越しして一ヶ月たつたころから飼い始めて、今ではすっかりはまっています」とおっしゃります。テッキスペースはスダチの遊び場でもあり、外からの視線を気にせずに、光と風を室内に呼び込むための空間にもなっています。また、物干し場としても活用。

玄関アプローチには緩やかなスロープが設けられ、玄関とホールの境目にも、ほとんど段差がありません。また、室内の扉をすべて引き戸とし、全体にバリアフリーを意識した造りです。対照的に和室の床高は四十センチと、通常より高く設定。

「リビングに面して、和室の縁に腰掛けるのに、ちょうどよい高さです。二人で家具を見に行つたときに、座りやす

「満足しています」とにこやかに話すYさん。ライフスタイルに無理なくなじむ、住み心地の良い家で、愛犬との暮らしを楽しめています。

いいすの高さを測つてきました」と奥さま。また、床下は収納スペースとして活用しています。

和室の床下以外にも、玄関から土足で出入りできるシューズ・イン・クローゼットやキッチン横のストックルーム、造り付けの本棚など、収納も充実しています。

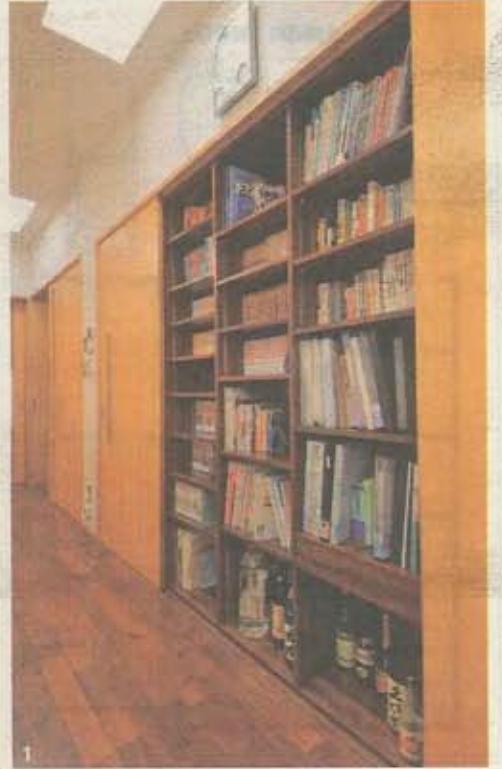
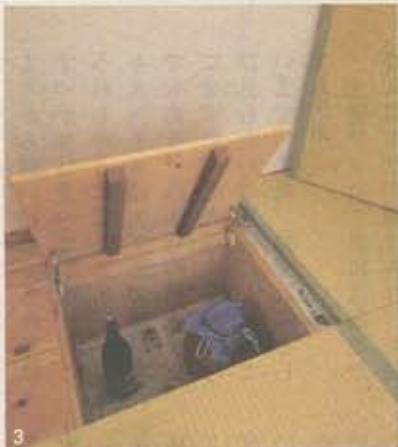
「アパートの流し台が低くて、キッチンに立つといつも腰が痛くなりました。このキッチンは私の身長に合わせたので、楽ですね。食器棚もこの高さに合わせて造つてもらいました。それでも腰痛が心配なので、流し台の下をオープンにして、座つて調理できるようになります」と奥さま。

キッチンはこの家の中心とも言える場所にあり、家事動線もスムーズで、使い勝手が良さそうです。

暮らし始めてもうすぐ一年。



- リビングの壁面に造り付けの本棚を設置。玄関ホールとトイレの引き戸は戸袋なしで、出入りの際には本棚側にスライドされます
- 和室の床下は引き出し式の収納として活用
- リビングとの壁に造られ引き出し式が造れなかった和室には、跳ね上げ式の収納を設けています



家づくりの白金奖 シューズ・イン・クローゼットで 機能的に収納

Yさんの家では、「使う物は使う場所にしまう」という発想で、さまざまなタイプの収納が造られています。中でもYさんが「靴を履いたまま出し入れできるのは、想像以上に便利ですね」と満足しているのが、シューズ・イン・クローゼットです。スタイル張りにしたことで、掃除もしやすく、釣り道具などがぬれた状態でも気にせずに仕舞うことができます。そのほかにも、壁面に大きな本棚を造り、和室に跳ね上げ式の床下収納や引き出し式収納を設けたり。デッドスペースを利用して収納を作り出す、さまざまな工夫がされています。

■赤嶺しげたか

1972年沖縄生まれ。東京都内の設計事務所に勤務。沖縄後、2年間型枠大工を経験。その後、県内設計事務所にて住宅設計、マンション設計、店舗設計、リフォーム設計に携わりながら1級建築士取得。平成16年「1級建築士事務所Simple」設立。平成17年、沖縄市中央パークアベニュー内に「Cafe+1級建築士事務所Simple」をオープンし、建築、デザイン、アート、カフェのイベントや販売、設計相談を受ける。

打ち合わせでは、何げない会話から施主のライフスタイルを理解するようにしていました。家づくりで一番重視しているのは動線です。動線もデザインの一つと考えます。動線をどれだけシンプルにするか。そうすることで住んでいる人が疲れにくく、住みやすい家になると思います。また、遊びは必要ですが、無駄なスペースをつくらないことも大切です。

敷地を見る際には、いつも風水盤を持っていきます。風水を取り入れることで、年中、過ごしやすい環境をつくり出することができます。Yさんの家でも北西に水回りを置くなど、風水を意識して間取りを描きました。とはいっても、ただにこだわるのではなく、

打ち合わせでは、何げない会話から施主のライフスタイルを理解するようにしていました。家づくりで一番重視しているのは動線です。動線もデザインの一つでした。動線をどれだけシンプルにするか。そうすることで住んでいる人が疲れにくく、住みやすい家になると思います。また、遊びは必要ですが、無駄なスペースをつくらないことも大切です。

敷地を見る際には、いつも風水盤を持っていきます。風水を取り入れることで、年中、過ごしやすい環境をつくり出することができます。Yさんの家でも北西に水回りを置くなど、風水を意識して間取りを描きました。とはいっても、ただにこだわるのではなく、

動線を重視し、無駄なスペースをなくす——建築士・赤嶺しげたかさん談

■こんな家に住みたい

コンパクトで シンプルな家

南156番
糸谷村
Yさん宅

ままでの、洗面・脱衣室からの動線を重視し、帰ってきてあらゆる敷地条件を考慮し、バランスを取るように心掛けています。

今回、パリアフリーも施主の要望の一つでしたが、和室の床は高くしました。当初、和室の希望はなかったのですが、ゲストルームとしてプランに加えました。収納もたっぷり欲しい、ということでしたので、床を上げて、引き出し式収納を作ることを提案しました。普段は腰掛けとして使えます。また、和室の床高に合わせ、全体の天井の高さを上げることで、空間を広く見せるようにしています。リビングの天井にはトップライトを設け、光を取り入れるよう工夫しました。

Yさんは釣りが趣味と伺いました。外壁の角は丸く処理し、全般的に優しい雰囲気でまとめました。「かっこいい家」よりも「優しい家」をコンセプトに住む人にも、風景にも優しい家づくりを目指しています。

住む人にも、風景にも優しい家づくり

